



【電車】伊予鉄横河原線「久米駅」より徒歩20分

愛媛医療生活協同組合

# 愛媛生協病院

〒791-1102 松山市来住町1091-1  
 [TEL] 089-976-7001 [FAX] 089-976-7029  
<https://www.e-seikyō-hp.jp/index.php>

## 応募連絡先

担当部署：総務課 臨床研修センター 担当者：大西 美和  
 ✉ [m-onishi@ehime-med.org](mailto:m-onishi@ehime-med.org)

## 暮らしとともに地域を支える医療を学ぶ

愛媛医療生活協同組合は2020年に70周年を迎え、組合員と共に事業運営に取り組んでいます。愛媛生協病院は88床の小病院ですが、内科・家庭医療科、外科、整形外科、小児科、精神科・心療内科の常勤医を有し、松山市の二次救急番病院として急性期医療も担いながら、こころと身体を総合的に診る医療を行っています。当院は、地域の組合員さんと共にまちづくりや健康活動・予防活動を行い、また多職種で医師養成にかかわっているところが他の病院にはない魅力です。2009年から卒後臨床研修評価機構の認定を受け、現在も複数名の初期研修医が地域に根差した医療・福祉活動を、学んでいます。地域とともに総合的に成長したいと望まれる方々の参加を期待します。



## ● 病院データ

病床数 <b>88床</b>	医師数(研修医含む) <b>18人</b>	初期研修医数 <b>3人</b>	指導医数 <b>12人</b>	外来患者数(1日平均) <b>273人</b>
入院患者数(1日平均) <b>82人</b>	救急外来患者数(年間件数) <b>4,193人</b>	救急車搬送患者数(年間件数) <b>1,489人</b>	年間手術数 <b>457件</b>	病床稼働率 <b>91%</b>

【開設年】1986年  
 【開設者】今村 高暢  
 【院長】今村 高暢  
 【標榜科】内科(消化器内科・循環器内科・呼吸器内科)  
 外科・大腸肛門科 / 小児科・アレルギー科  
 整形外科(リハビリテーション科・リウマチ科)  
 精神科・診療内科



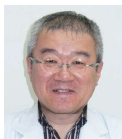
整形外科手術研修



小児科外来診察の様子

## メッセージ

## ○ 院長



理事長・院長  
**今村 高暢**  
 (愛媛大学卒)

愛媛生協病院は「患者の立場に立ちて親切でよい医療」「いつでもどこでも安心して、医療・福祉が受けられる」ことを目指しています。当院の総合基礎研修プログラムで育てたいのは、「医師としての基本的価値観と基本的な診療能力を備えた愛媛の医師」です。知識・技術・態度・情報収集力・総合的判断力を身に付け、よくある病気や外傷等にきちんと対応でき、研修終了後にはどの分野に進んでも通用できる医師を育てます。

## ○ 指導医・プログラム責任者



外科医長  
**塚本 尚文**  
 (愛媛大学卒)

指導医・上級医のもとで「担当医」として、1つの科に偏らず研修できるすべての科で診療にあたる総合基礎研修を基盤にしています。患者さんの生活背景やライフスパンに沿った医療を病棟・外来等を通じて実際に体験し、地域での第一線医療機関の役割と機能を認識してもらいます。医師をはじめとした病院スタッフや地域の組合員さんの力をお借りして、基本的臨床能力と主治医機能と障害学習の基礎を身に付けられる研修をお約束します。

## ● プログラムの目的・特徴

### 目的

1. 当プログラムは、研修の導入時期は内科病棟における総合診療方式での研修から開始し、担当した症例を通して、問題解決能力や主治医機能を身につけることを重視する。患者が抱える問題を、身体的・心理的にはもちろん、生活や社会背景をも含めて受け止める事ができる力を養う。
2. 一般診療においては、頻繁に関わる疾病または負傷に適切に対応できる基本的な診療能力(知識・技術・態度・情報収集力・総合的判断力)を身につける。
3. チームスタッフや地域住民と共に、健康で暮らしやすいまちづくりに取り組んでいく。プライマリヘルスケア医を養成する。
4. 院内の全職員が研修の成功に向けて、積極的に関わり、責任を持って到達目標を達成する。

### 特徴

#### 心強い3つのサポート

- ① 研修医の希望へサポート！ 研修医の意見に積極的に耳を傾け、一緒に研修スケジュールを考えます。手技や症例など、2年間でプログラムが修了できるような責任を持って対応します。研修終了後の進路は本人が自由に選択・決定できます。
- ② 重層的な体制で研修をサポート！ 指導医と完全マンツーマンの指導体制で、しっかりと研修を受けることができます。医局はひとつで全科共有です。各科・指導医間の垣根は低く、いつでも相談できる環境です。多職種との距離も近く、全職員が指導者として研修に関わります。
- ③ 協力的な病院・施設が研修をサポート！ 診療所から大病院までの幅広いフィールドがあり、すべての病院・施設での研修の体制が整っています。研修先での宿泊費は院所が負担します。

## ● 研修スケジュール

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	オリエンテーション	内科				救急			整形外科		小児科	小児科(院外)
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	外科	内科		産婦人科(院外)	地域医療研修(院外)		外科(院外)	選択科		救急		

### 必修分野

内科	24週以上	地域医療	8(〜4)週以上
救急	12週以上	精神科	8(〜4)週以上
外科	8週以上	整形外科	8(〜4)週以上
小児科	8(〜4)週以上		
産婦人科	8(〜4)週以上		

### その他の分野及び選択研修など

◇ 整形外科研修  
 愛媛生協病院の整形外科では外傷からスポーツ障害、骨粗鬆症、慢性疾患など、指導医が極めた専門分野を持っており、基本的な整形外科の手術が習得できます。手術は外傷や変性疾患など多岐にわたり、2022年度は約460件の手術を行いました。指導医とのカンファレンスを通じ、疾患の学習、治療方針の決定に関わり、多くの手術を経験します。高齢者の骨折も多く、退院後の生活背景を考慮した経験ができます。

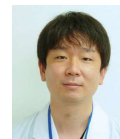
◇ 外来研修  
 内科外来・小児科外来で研修し、プライマリ・ケア医に必要な一般外来における知識・技術・態度が習得できます。主に初診患者の診察を行い、多くのcommon diseaseを経験できます。また、継続して外来を行うことで、慢性疾患患者の継続診察や担当患者の退院後の外来診察が経験できます。

## ● 募集要項

【予定人数】3名  
 【応募締切】2023年8月  
 【選考試験】2023年8月中旬  
 【応募書類】①履歴書 ②卒業(見込み)証明書 ③成績証明書 ④小論文  
 【研修手当】1年次：約510万円/年 2年次：約580万円/年  
 時間外手当：あり、宿日直手当：あり、  
 通勤手当：あり、家族手当：あり  
 住宅手当：13,000円/月  
 【学会等】年2回旅費支給あり(発表ありは別)  
 【宿舎】なし  
 【院内保育所】あり

【休 暇】日曜・祝祭日、4週6休  
 夏季休暇(8/15)、リフレッシュ休暇3日、年末年始休暇あり  
 有給休暇10日(採用3ヶ月経過後)  
 その他生理休暇、慶弔休暇、育児休暇、介護休暇  
 【保 険】健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険  
 医師賠償保険  
 【その他】医療費還付制度  
 メディカルフィットネス職員割引

## ○ 研修医



2年次  
**松本 拓記**  
 (愛媛大学卒)

当院の初期研修の特徴は①一つの診療科の研修期間が長い、②総合的な診療能力が身に付く2点です。一つの診療科の研修期間が短い場合、充分理解できず次の診療科に進むことも多いですが、当院なら時間をかけた指導のもと手技や現場での臨床判断能力が身につくのが実感できます。また個人の臨床能力に応じた指導が受けられます。

当院は病床数が少ないため、経験症例数が少ないのではと心配すると思いますが、外来や救急初療の時間が多めにあり十分な症例経験ができます。また初診患者が多く一般的な疾患に対する総合的な診療能力が十分身に付きます。指導医も教えるのが好きで院内の雰囲気も良く、のびのびと研修ができると思います。

愛媛医療生活協同組合は健康づくりの生協です。「いのちと健康を守りたい」「平気で暮らしやすいまちをつくりたい」という願いをもった人々が、組合員となり地域での活動に取り組んでいます。地域で健康づくりを行なっている組合員と共に活動を通して「地域」や「生活」を知ること、住民一人ひとりの想いや地域に求められている医療を「捉える視点」を養い、考える力を身に付けることができます。さらに、地域に向いて行う健康講話や組合員との会話の中で、医学知識の整理や伝え方の学びにもつながります。

